



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 本庄 大介
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 平田 篤 （TEL） 03-5371-7197
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年4月期第1四半期の連結業績（2026年5月1日～2026年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年4月期第1四半期	135,180	3.3	10,200	22.0	10,122	13.4	6,559	14.8
2026年4月期第1四半期	130,875	4.7	8,360	17.3	8,924	23.6	5,712	28.6

（注1）包括利益 2027年4月期第1四半期 7,219百万円（5.7％） 2026年4月期第1四半期 6,828百万円（50.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	56.93	56.81
2026年4月期第1四半期	49.60	49.50

（注2）1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年4月期第1四半期	370,189	181,892	48.7
2026年4月期	342,667	177,951	51.4

（参考）自己資本 2027年4月期第1四半期 180,255百万円 2026年4月期 176,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2027年4月期	—	—	—	—	—
2027年4月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2027年4月期の連結業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	500,000	0.4	20,000	△7.8	20,500	△11.9	11,430	229.7

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年4月期1Q	85,212,380株	2026年4月期	85,212,380株
② 期末自己株式数	2027年4月期1Q	889,863株	2026年4月期	889,863株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年4月期1Q	84,322,517株	2026年4月期1Q	84,308,038株

(注) 発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下 (参考) をご覧ください。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり四半期純利益 (連結)	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 (連結)
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	56.93	56.81
2026年4月期第1四半期	49.60	49.50

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期		30.00		30.00	60.00
2027年4月期	—				
2027年4月期(予想)		33.00	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(3) 第1種優先株式に係る業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益 (連結)
	円 銭
通期	109.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年4月期1Q 32,246,962株 2026年4月期 32,246,962株

② 期末自己株式数

2027年4月期1Q 1,339,333株 2026年4月期 1,339,088株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年4月期1Q 30,907,761株 2026年4月期1Q 30,852,671株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いた一方で、中東情勢や米国の通商政策の影響、原材料・エネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは持続的成長に向けた中期経営計画を策定しており、その一環として事業基盤の再編・強化に取り組んでおります。本年5月には、当社グループの自動販売機関連事業を統合し、株式会社伊藤園ネオスを設立しました。営業エリアや配送網の最適化を進めることで、収益性の向上および事業効率の改善を図ってまいります。また、海外事業においては、2029年4月期までに60以上の国・地域での事業展開を目指しており（現在は52の国・地域で販売）、既に展開している国・地域では、飲料製品およびティーバッグ製品の販売数量が伸長しており、ブランド認知も着実に向上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高	1,351億80百万円（前年同期比3.3%増）
営業利益	102億円（前年同期比22.0%増）
経常利益	101億22百万円（前年同期比13.4%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	65億59百万円（前年同期比14.8%増）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

リーフ・ドリンク関連事業の売上高につきましては、国内外で実施した価格改定の浸透効果により、堅調に推移しました。利益面につきましては、継続する物価高の影響を受けながらも、販促費用の抑制や前連結会計年度に実施した自動販売機事業の減損処理に伴う減価償却費の軽減効果などにより大幅に改善しました。引き続き大谷翔平選手を起用したマーケティング施策を展開するとともに、「お〜いお茶」のさらなるグローバル展開を推進してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は1,206億29百万円（前年同期比2.7%増）となり、営業利益は89億93百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

<飲食関連事業>

スペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」では、本年7月に海外アーティストとのコラボレーション施策を展開し、客数および売上高が大きく伸長しました。また、新規出店につきましても、地域らしさを取り入れた内装を特徴とする「近鉄布施駅店」や、限定メニューを豊富に取り揃えた「Express目白駅前店」など、他社と差別化を図りながら様々な形態で出店を拡大しました。なお、2026年7月末時点の総店舗数は855店舗（前期末比5店舗増）となっております。

この結果、飲食関連事業の売上高は124億5百万円（前年同期比8.4%増）となり、営業利益は9億91百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

<その他>

売上高は21億46百万円（前年同期比9.5%増）となり、営業利益は2億20百万円（前年同期比23.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は3,701億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ275億21百万円増加いたしました。これは主に「現金及び預金」が116億20百万円減少、「売掛金」が138億80百万円増加、「商品及び製品」が62億32百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が138億21百万円増加、有形固定資産の「その他」が16億92百万円増加、投資その他の資産の「その他」が16億64百万円増加したことによるものであります。

負債は1,882億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ235億80百万円増加いたしました。これは主に「買掛金」が126億1百万円増加、「短期借入金」が83億16百万円増加、「未払費用」が15億8百万円増加、「賞与引当金」が21億12百万円減少、「その他の流動負債」が29億9百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,818億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億41百万円増加いたしました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が65億59百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が29億58百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年4月期の業績予想につきましては、2026年6月1日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,193	63,573
受取手形	68	96
売掛金	70,020	83,901
商品及び製品	56,966	63,198
原材料及び貯蔵品	17,193	31,015
その他	18,091	20,072
貸倒引当金	△355	△290
流動資産合計	237,179	261,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,373	26,395
土地	23,674	23,666
リース資産(純額)	3,164	2,729
その他(純額)	12,457	14,150
有形固定資産合計	65,669	66,941
無形固定資産		
のれん	1,071	1,006
その他	6,374	6,636
無形固定資産合計	7,446	7,643
投資その他の資産		
その他	32,529	34,194
貸倒引当金	△157	△157
投資その他の資産合計	32,371	34,036
固定資産合計	105,487	108,622
資産合計	342,667	370,189
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,170	48,772
短期借入金	5,997	14,314
リース債務	1,134	1,113
未払費用	34,136	35,644
未払法人税等	3,593	3,741
賞与引当金	4,674	2,561
その他	8,254	11,163
流動負債合計	93,961	117,312
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	46,037	45,918
リース債務	2,470	2,888
退職給付に係る負債	6,369	6,435
その他	5,876	5,741
固定負債合計	70,754	70,984
負債合計	164,715	188,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	4,788	4,788
利益剰余金	151,162	154,763
自己株式	△5,764	△5,765
株主資本合計	170,099	173,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,820	3,157
土地再評価差額金	△6,074	△6,074
為替換算調整勘定	8,334	8,510
退職給付に係る調整累計額	994	962
その他の包括利益累計額合計	6,074	6,556
新株予約権	47	47
非支配株主持分	1,730	1,589
純資産合計	177,951	181,892
負債純資産合計	342,667	370,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
売上高	130,875	135,180
売上原価	82,328	84,916
売上総利益	48,547	50,264
販売費及び一般管理費	40,186	40,063
営業利益	8,360	10,200
営業外収益		
受取利息	104	72
受取配当金	57	66
持分法による投資利益	16	40
為替差益	377	28
その他	275	221
営業外収益合計	832	430
営業外費用		
支払利息	174	290
リース解約損	43	123
その他	50	93
営業外費用合計	268	508
経常利益	8,924	10,122
特別利益		
固定資産売却益	1	150
特別利益合計	1	150
特別損失		
固定資産売却損	—	47
固定資産廃棄損	44	11
減損損失	—	0
投資有価証券評価損	39	—
特別損失合計	84	59
税金等調整前四半期純利益	8,841	10,212
法人税等	3,053	3,519
四半期純利益	5,788	6,693
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	133
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,712	6,559

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	5,788	6,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	469	331
為替換算調整勘定	766	201
退職給付に係る調整額	△188	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	25
その他の包括利益合計	1,040	525
四半期包括利益	6,828	7,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,780	7,041
非支配株主に係る四半期包括利益	47	177

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	2,221百万円	1,600百万円
のれんの償却額	66百万円	65百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	117,467	11,447	1,960	130,875	—	130,875
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	682	32	158	873	△873	—
計	118,149	11,480	2,119	131,748	△873	130,875
セグメント利益	7,281	907	179	8,367	△6	8,360

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△66百万円、セグメント間取引60百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	120,629	12,405	2,146	135,180	—	135,180
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	614	159	42	816	△816	—
計	121,244	12,564	2,188	135,997	△816	135,180
セグメント利益	8,993	991	220	10,204	△3	10,200

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△51百万円、セグメント間取引47百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。